

新漕 福祉だより

発行：新漕学区の
福祉を高める会
発行責任者：北川 慶子

新漕学区の福祉を高める会の活動について

新漕学区の福祉を高める会は、学区内の乳幼児から高齢者に至る全ての人々の福祉増進を図ることを目的として一九八六年に発足しました。以来三十九年、少子高齢化の進展や地域の間関係の希薄化など、福祉を高める会に求められる役割も次第に変化する中であって、時代の要請に即応した活動を行うよう取り組んでまいりました。

現在、実施している主要な事業は次のとおりです。

主要な事業

◆乳幼児育成支援事業

(おもちゃサロン)

就学前の乳児・幼児を対象に、子育て中の親子の居場所づくりとして開催しております。具体的には、子どもたちの遊びの場として、子育ての相談や保護者同士の交流の場として、また、専門講師による子どもの健康に関する講座や絵本の読み聞かせ、運動や手遊びなども行う場として、毎月第三火曜日に開催しております。



◆中高齢者の健康増進事業

(ふれあいいきいきサロン)

毎年一回、八十歳以上の高齢者を対象に開催し、芸（歌・踊り）やリラククス体操、小学校児童との交流などを楽しんでいただくとともに、最後に会食をしながら四方山話に花を咲かせ、参加者同士の親睦を図ることを目的としております。



(健康サロン・健康講座)

高齢者を対象とした健康づくりを目的とした事業で医療・保健・福祉の関係者等の協力を得て、講演会を始め健康体操、健康食、血圧測定などを行うもので、併せて参加者の仲間づくり、生きがいづくりを資するものです。



(スポーツサロン)

健康づくりの一環として、多くの高齢者が日頃から親しんでいるグラウンドゴルフを支援するところにも



毎年グラウンドゴルフ大会を開催する中で楽しい時間を過ごし、ふれあいづくり、生きがいづくりに繋がっております。

◆くわい喫茶サロン

地域の人たちの交流の場として、また、高齢者の居場所づくりの場として二〇一六年六月に開設し、九年目になります。毎週水曜日にはおおむね二十人程度の参加があり、おしゃべり等でほのぼのと暖かさを感じる楽しいひと時を過ごしていただいております。



menu

コーヒー・紅茶・生姜湯

お茶菓子つき

100円

◆小地域ネットワーク事業

民生・児童委員協議会と連携、協力しながら、在宅のひとり暮らし老人など要援護世帯に対する見守り活動や生活支援活動を行い、誰もが地域で安心して暮らすことのできるまちづくりの一助となるよう努めています。



◆福祉だよりの発行

福祉を高める会の事業に関する案内や報告等を始め、福祉に関する地域の様々な情報を新鮮かつ適切に提供すべく、年三回の発行ですが、休刊することなく継続して発行してきたところですが、今後、必要な情報を皆様方に提供できるよう努めてまいります。

◆地域や学校行事への参加協力

地域で開催される各種イベントや幼稚園・小学校の行事に積極的に参加協力し、一役を担うことでそれぞれの事業の盛衰に貢献しております。



ボランティアの会について

ボランティアの会は、新漕学区の福祉を高める会と協働して、地域の福祉向上に資する事業を推進する中核となって活動しています。毎月一回の幹事を開催し、様々な事業の計画から実施まで細かく打ち合わせを行いながら進めています。

幹事は、各町内会から1名選出していただいた幹事により構成しております。その構成メンバーは次のとおりです。

代表	北川 慶子	東上 町内会
副代表	坂本 愛子	中 町内会
副代表	影本 次典	西新漕一丁目町内会
会計	掛谷 晃	沖 町内会
幹事	井本 礼子	東上 町内会
	山本 勝政	宮前 町内会
	藤井美知子	沖 町内会
	辻岡 康治	中上 町内会
	榎村 育子	三丁目上町内会
	奥山 善人	五丁目 町内会
	桑田 裕子	誠之 町内会
	早川 征夫	三丁目上町内会
	若井 久夫	新漕交流館
顧問		
事務局		

毎月第四金曜日はカレーを食べる日

「特別養護老人ホームしんがい」では、地域貢献活動の一環として、地域の高齢者（おおむね六十歳以上）をお迎えして、美味しいカレーライスを提供しています。

- ・日時 毎月第四金曜日、昼の十二時から
- ・費用 一食百五十円
- ・場所 特養しんがい 地域交流室
- ・定員 一回十六名様まで

福祉を高める会が、毎週水曜日の喫茶サロンで予約を受け付けていますので、遠慮なくお申し込みください。